



●DIDGORI / Giorgi Yipianiディドゥグリ / ギョルギ・イピアニ

Sakipiano 2017 サキピアノ 2017 [赤]

ギョルギ・キピアニのワイナリーはジョージア西部のラチャ地方の「フヴァンチカラ」という特別な村にあります。そこはソビエト連邦時代に、彼のワイン、特にセミスウィートの赤ワイン“フヴァンチカラ”でとても有名でした。

※ドキュメンタリー映画『ジョージアワインの生まれたところ』の後半に登場しましたフヴァンチカラ村。映画の中で造り手が「本当のフヴァンチカラは甘くないんだ。」と云われた。その甘くないフヴァンチカラです。

祖父はフヴァンチカラの大きな工場のディレクターで、父もワイン生産者。子供の頃から彼はワインづくりの修行をしていました。

2014年、彼はクヴェヴリデのワイン生産を決断しました。それが「実験」になるだろうということ、それにリスクが大きいことも覚悟していましたが、幸いにもそれは失敗にはなりませんでした。56リットルにも満たないワインのクヴェヴリの蓋を開けた時、それはもう素晴らしいものだったと彼は言っています。

ディドゥグリという名前は、伝統的なジョージアのポリフォニー（多重声楽）と聖歌を歌う、結成12年ほどになる15人のアンサンブルの名前からつけられました。彼もこのメンバーの一人。

あるクリスマスイブの日、彼は友人に、アンサンブルのCDジャケットに「ディドゥグリ ワインメイキング」という名前をデザインしたワインのラベルを、彼のワインと共に贈りました。当時それはジョークの贈り物でしたが、その後彼らはそれを本当に実現することとなります。

アンサンブルの仲間は、ワインを生産するためのボトルと会社設立のため、860ラリ (320ユーロ) を贈りました。2014年、たった4つのクヴェヴリ (total 360リットル) で、200本ほどのワインを生産。Aleksandrouli と Mujuretuli 交配種でラチャの土着品種である

“Sakipiano” のワインです。ジョージアで最も希少な品種、フヴァンチカラのワイン。その中でも、素晴らしいワインです。

ポリフォニーの歌い手としても名高い彼らの作るそのワインは、品種が本当に愛され、作られていることがとてもよくわかります。

最大限に品種の個性を生かしたワインの作り手であり伝統をととても大事にしています。

ボトル9091円（税込10000円）

●LAGAZIラガジ

Rkatsiteli 2017ルカツィテリ 2017 [オレンジ 白]

Shota Lagazidzeは、ジョージアの山岳地域であるTushetiの若干30歳の若者。

Our Wineのソリコをはじめ、Pheasant' Tearsのジョンなど、8000年の歴史を呼び戻し、復活させようとワインをつくっている人たちが集まるレストラン&バーに遊びに来た若者達がワインに興味を持ちワインを作り始めた。第2世代の造り手の筆頭。

州立大学の観光管理部門を卒業し、観光管理会社の通常の従業員として勤め始めた頃、彼は友人の一人と一緒にワイン造りを行い、最終的に彼自身のブランド「Lagazi」を設立しました。彼は数年間ガイドを務めていましたが、今でもそれを定期的に続けています。

ボトル5545円（税込6100円）